

(問題2のつづき)

問2 化石記録から地球史における生物多様性変化が調べられてきた。その代表例として、図2にSepkoski (1981) による顕生累代における海生動物の科数の時代変化を示した。

これについて設問(1)、(2)に答えよ。

- (1) 図中のCm, Pz, Mdはそれぞれカンブリア紀型動物群、古生代型動物群、現代型(中生代~新生代型)動物群を示す。Cm, Pz, Mdの代表的な化石生物を一つずつ挙げよ。
- (2) 化石記録から生物の多様性を議論する際に注意しなければならない点を説明せよ。

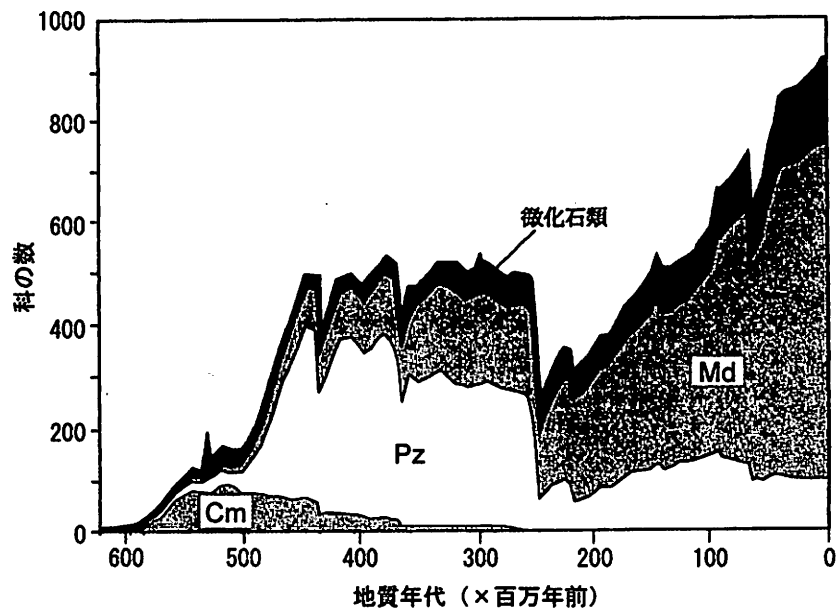


図2 顕生累代における海生動物の科数の時代変化 (Sepkoski, 1981 を改変)

問3 次の8つの用語から4つを選び、それぞれ50字程度で説明せよ。

- (1) 斉一説
- (2) 地層累重の法則
- (3) 化石による地層同定の法則
- (4) 漂流岩屑 (Ice rafted debris)
- (5) テチス海
- (6) 埋没林
- (7) 放散虫
- (8) ベレムナイト